

■成田市地域公共交通計画 令和6年度 評価指標達成状況一覧表

評価指標	1.路線バス・コミュニティバス利用者数	2.コミュニティバスの収支率の改善	3.公共交通に満足している人の割合	4.バス待ち環境の改善	5.総車両台数に占めるバリアフリー対象車両の割合	6.利用促進に係る事業・イベントの数	7.ICT、デジタル化への対応数
目標値	600万人 ⇒ 650万人	21% ⇒ 25%	43.5% ⇒ 50%	6箇所	バス：68% ⇒ 80% タクシー：18% ⇒ 25%	5回/年 ⇒ 10回/年	3事業
実績値	6,083,110	19%		0箇所(累計2箇所)	バス：75% ⇒ 54% タクシー：35% ⇒ 51%	7回/年	
達成率	93.6%	76.0%		0%(累計33.3%)	バス：67.5% タクシー：204%	70%	
達成状況	△	△		△	○	○	
今後の方針	新型コロナウイルス感染症の影響により減少した利用者数は、合計数では順調に復調傾向にあるが、個別の路線では、コロナ禍以前より増加している路線も、コロナ禍からの回復傾向が見られない路線もあることから、効果的な利用促進方法について検討が必要である。	数値は微増であった。新型コロナウイルス感染症の影響により減少した利用者数は、多くの路線で復調傾向にあったが、利用者数が現在においても回復基調にある路線もあれば、減少・停滞している路線も見られ、全体的に利用者数の増加には停滞が見られる。利用状況や地域のニーズに合わせ、運行を効率化し、収支率の改善を図っていく必要がある。	最終年度(R9)に評価を実施	ハード面の整備になるので、利用者から整備を求められている場所を見極め、順次着手していく。	バリアフリー対象車両の導入は進んでおり、タクシーについては目標値を達成している。バスにおいてもバリアフリー対象車両の車両台数は増加しているが、非対象の車両数も増加しているため、割合は減少した。	各交通事業者様で実施していただく事業、イベントに加え、市で11月に開催している「成田市産業まつり」にてコミュニティバスの展示、各事業者様提供の啓発物資を掲示・配布するPRブースを設け、多くの方に公共交通に触れていただく機会を設けることができた。啓発の方法について検討しながら、引き続き実施する予定である。	最終年度に評価を実施
現状値の考え方	新型コロナウイルス感染症の影響がなく、平常値であると考えられる平成30年度の路線バス及びコミュニティバス利用者数の合計値を採用。	新型コロナウイルス感染症の影響がなく、平常値であると考えられる平成30年度の収支率を採用。(小数点第1位切捨て)	平成30年度に市で実施した市民アンケートの「路線バス・コミュニティバス・オンデマンド交通の満足状況」-「⑦総合的に見た移動手段の満足度」の「満足」及び「やや満足」が全体に占める割合を計上。	新たにバス待ち環境の改善を実施するものであるため、現状値なし。	令和3年4月末時点の総車両台数及びバリアフリー対象車両(バス:ノンステップバス、タクシー:バリアフリー対象車両)から割合を算出。	令和元年度に市と交通事業者が実施した事業・イベント数を計上。	今後実施する事業であるため、現状値なし。
評価の方法	バス事業者及び市コミュニティバス事業担当課から各年のバス利用者数を確認し、集計する。	運賃収入及び運行経費を市コミュニティバス事業担当課に確認し、以下の計算により算定する。 運賃収入÷運行経費	平成30年度に実施したアンケートと同様の設問でアンケートを実施し、集計する。 ※令和9年度に実施予定	バス待ち環境整備の実施箇所数をカウントして集計する。	各年度末時点の総車両台数及びバリアフリー対象車両数を確認し、割合を算定する。	市と交通事業者が実施した事業数を聞き取り、計上する。	市で実施する公共交通に係るICT・デジタル化に寄与する事業数を確認する。 ※令和9年度に実施予定
実績値の根拠	・千葉交通㈱:5,325,279人 ・ジェイアールバス関東㈱: 349,164人 ・成田空港交通㈱:231,148人 ・コミュニティバス (しもふさ循環ルート除く): 177,519人 【R5年度→R6年度】 ○R5年度実績:5,832,148人 年間利用者数:250,962人増 1日あたり利用者数:731人増 (R5:15,935人→R6:16,666人)	【R5年度→R6年度】 ○R5年度実績:18.5% R6年度実績:19.2% ○年間運賃収入760,174円増 R5:29,539,486円 R6:30,299,660円 ○年間運行経費2,057,759円減 R5:159,625,972円 R6:157,568,213円		 令和6年 成田市ほこみちプロジェクトによるベンチ設置	【バス】 ノンステップバス台数/総車両台数 ・千葉交通㈱: 79台/148台 ・ジェイアールバス関東㈱: 7台/11台 ・成田空港交通㈱: 2台/11台 ・コミュニティバス: 8台/8台 計: 96台/178台 (53.93%) 【タクシー】 バリアフリー対象車両台数/総車両台数 ・参考タクシー㈱: 20台/36台 ・株都市交通: 0台/32台 ・国際空港交通㈱: 7台/18台 ・エミタスタクシー北総㈱: 18台/35台 ・松崎交通㈱: 9台/18台 ・多古タクシー(有): 9台/14台 ・東閑交通㈱: 0台/2台 ・京成タクシーアイースト成田㈱: 68台/90台 ・株芝山タクシー: 0台/6台 ・有松尾タクシー: 0台/3台 ・株イロハ観光交通: 0台/1台 ・株伸之: 0台/1台 ・株世界産業: 0台/3台 計: 131台/259台 【R5年度→R6年度】 ○バス21pt減、タクシー16pt増 R5年度実績 バス:75% タクシー:35%	・千葉交通㈱:0回 ・ジェイアールバス関東㈱:0回 ・成田空港交通㈱:6回 ・成田市:1回 【R5年度→R6年度】 ○R5年度実績 8回	-